

施設名	小島社会教育館		指定管理者の名称	株式会社 山武		
1. 指定管理者の概要						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	(平成20年3月末現在) 東京都北区滝野川体育館他14施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位：百万円]	
	平成17年度	63,341	52,468	10,872		
	平成18年度	67,640	53,489	14,151		
	平成19年度	71,441	54,176	17,265		
2. 施設の概要						
①所在地	台東区小島1-5-2 台東小島ビル2階 都営住宅と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体、教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民、その他一般団体					
④開館日・開館時間	火曜日～日曜日：9時～22時、月曜日：13時～22時 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4)					
⑤規模	ホール100人 第一会議室30人 第二会議室20人 第三会議室20人 第一和室15人 第二和室30人					
⑥人員体制	週40時間勤務1人 週30時間勤務 3人					
3. 事業(サービス提供)の概要						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	講座事業					
4. 施設の稼働状況等						
		利用件数	利用人数	利用率		
	平成18年度	1,627件	22,946人	30.0%		
	平成19年度	1,544件	22,549人	26.3%		
5. 予算決算の推移 (単位：円)						
	年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	—	13,373,000	12,834,000	13,899,000	
	料金収入等	—	3,200,000	3,600,000	2,500,000	
	管理経費	—	16,573,000	16,434,000	16,399,000	
決 算	委託料	—	13,373,000	12,834,000		
	料金収入等	—	2,392,290	1,768,824		
	管理経費	—	15,992,226	15,882,951		
	収 支	—	-226,936	-1,280,127		

6. 評価項目		3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 —：評価対象外項目	
評価の観点	評価項目		
①事業の運営 平均 [2.0]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [1.8]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [1]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [1.8]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [1] (4)利用料等の徴収・管理 [2]	
7. 評価		A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A	自主事業の増加、充実を図ったことにより利用者が増加傾向にある。今後も、さらなる充実を図っていく必要がある。	
②施設の維持管理	A	区からの申し出は、社会教育センターの所長を通して対応できている。今後は社会教育センターと連携を取って、自主的に対応できるかが課題である。	
③利用者の満足度	A-	利用者からの評価はおおむね良好であるが、利用率の拡大が課題である。	
④歳入歳出	A-	歳出については適正に行われているが、歳入は事業計画上の目標に近づけるよう努力が必要である。	
⑤総合評価	A-	18年度に比べ利用者が減少しているため、広報活動を活発にするなど、館を強くアピールしていく必要がある。	
8. 課題への対応等			
引き続き、社会教育センターと連携した広報活動を行うとともに、館独自の広報活動にも力を入れていく。また、自主事業にも工夫こらし、利用者の満足度向上にも努めていく。			